

令和5年3月20日

白老町議会
議長 松田謙吾様

総務文教常任委員会
委員長 吉谷一孝

所管事務調査の結果報告について

本委員会は、所管事務調査を終了したので、その結果を次のとおり報告します。

記

- 1 調査事項 (1) 第6次白老町総合計画の進捗状況について
- 2 調査の方法 (1) 事務調査
- 3 調査日程 (1) 令和5年3月8日(水) 事務調査
- 4 出席委員
委員長 吉谷一孝 副委員長 佐藤雄大
委員 前田博之 委員 大淵紀夫
委員 氏家裕治 委員 小西秀延
- 5 説明のために出席した者の職・氏名
行財政改革室長 高橋裕明 企画財政課主査 江草佳和
企画財政課主任 鈴木哲
- 6 職務のために出席した者の職・氏名
議会事務局長 本間力 主査 八木橋直紀

7 調査結果

(1) 第6次白老町総合計画の進捗状況について

本委員会は、第6次白老町総合計画の進捗状況について、担当課から説明を受けて、現状の取組、対策等を把握し、今後の在り方を検討する所管事務調査を終了したので、その内容を次のとおり報告するものである。

【実施計画の取組状況】

第6次白老町総合計画は、令和2年6月に策定され、まちの将来像「共に築く希望の未来 しあわせ感じる元気まち」の実現に向け、令和9年までの計画期間となっており、基本構想及び基本計画と毎年見直す実施計画で構成されている。

この実施計画は、基本計画の施策を推進するための事業計画となるもので、基本計画で示した施策を事務事業ごとに取りまとめた計画であり、社会情勢等の変化に柔軟に対応していくため、毎年ローリング方式で計画を見直しながら実行され、現在は3期目として令和6年度までの3か年となっている。

町は毎年度の予算編成と事業執行の指針に実施計画を位置付けながら、「生活環境」「健康福祉」「教育文化」「経済産業」「地域自治」の5つの分野を掲げ、各種基本施策に総合的かつ計画的に取り組んでいる。

第6次計画での取組として、当初予算との整合性はもとより第5次計画までの課題であった補正予算の計上及び執行管理を精査し、年度ごとの総予算額と決算額の把握に努め、1年ごとのPDCAサイクルの慣行、さらには計画期間の前半終期となる令和5年度の前期評価及び後期に向けた計画の見直しにつなげたい考えである。

また、計画体系については、総合計画は5つの分野、31の基本施策、104の基本事業で構成され、重点プロジェクトは人口減少抑制プロジェクトが24の基本事業、地域経済活性化プロジェクトが13の基本事業で構成されている。令和4年度においても実施する基本事業に関連付けられ、これら事業等に要する「当初予算額」「補正予算額」「最終予算額」等について、分野ごとに示していくこととしている。

町民満足度及び施策成果指標の推移については、令和5年1月時点の目標達成状況が示され、各基本施策における町民満足度31項目に加え、成果指標を47項目設定し、町民意識調査等により数値の把握・管理に努めている。町としては、令和9年の目標達成となるよう、後期に向けた計画内容の見直し・改善を含め、より効果的な事業の展開に努めていくこととしている。

【委員会意見】

実施計画は、令和4年度より3期目としており、前年度からの事業数の増減及び追加された事業の捉え方、さらには各事業と予算執行との整合性を図っていること等については、膨大な情報やデータから整理され管理が徹底されていることは今回の調査であらためて理解できた。しかしながら、個別

事業における評価については、町民満足度及び成果指標の推移等が示されているものの、さらなる検証と評価の「見える化」が必要である。

また、重点プロジェクトでは、きめ細かく体系別に整理されている中で目標値の設定や達成率の捉え方等においても、町民にもわかりやすく理解が深まる仕組みを検討すべきである。

今後もPDCAサイクルによる進行管理が想定されるが、町の組織体制及び高度化する業務内容を見据え、業務の効率化、合理化等を図るためには、継続した行財政の改革、さらにはDX推進にも着目し、必要な改善を進めるべきである。

町の政策規範となる総合計画の推進においては、円滑な行政運営があって各事業が達成され町民サービスに寄与されることから、今後の取組経過や状況について「見える化」を図り理解共有から実効性を高めることにつながることを期待する。